日刊建設工業新聞社　掲載許諾済

山形の舗装改良現場で安全衛生管理活動確認
佐藤渡辺の鎌田社長

佐藤渡辺の鎌田修治社長は10月13日、山形県戸沢村の道路工事現場で安全パトロールを行った。トンネル坑内の現場ではコンクリート舗装の準備や鉄筋組み立て作業、監査路工のシールコン打設などが行われており、鎌田社長は工事の進捗と安全衛生管理活動の状況を確認した。

パトロールしたのは、国土交通省東北地方整備局発注の「国道47号猪ノ鼻地区改良舗装工事」。国道47号高屋道路（延長3・4キロ）のうち、猪ノ鼻トンネル内の約460㍍区間で連続RC舗装などを施工している。



現場を視察する鎌田社長（右から3人目、佐藤渡辺提供）

パトロール後に講評した鎌田社長は、坑内壁面へのハンドホールの構造図の表示や「埋設管あり」といった視覚的な表示が適切になされている点を評価。若手職員と現場所長との間で確認・報告の連携体制が機能していることを確認し、「今後も密な報告体制を維持し、最後まで無事故・無災害で竣工を迎えてほしい」と呼びかけた。

小川源太郎執行役員東北支店長は「工事完了まであと少し。最後まで気を引き締めて無事故・無災害で竣工を迎えてほしい」と要請した。